

## 令和4年度第1回北広島市図書館協議会議事録

日 時	令和5年2月15日(水) 18時30分開会
会 場	図書館2階 AV サロン
出席委員	北川委員・工藤委員・穴澤委員・小島委員・塚田委員・松本委員・佐賀委員 佐藤善太郎委員・佐藤尚文委員・三上委員
欠席委員	
市出席者	新谷館長・蛭名主査・太田主任・佐藤主事・大川司書

### 【事務局】

ただ今より、令和4年度第1回北広島市図書館協議会を開会いたします。

本日は、過半数以上の出席をいただいているので、今回の会議は成立していることをご報告いたします。

また、本来でしたら、会長に進行をいただいておりますが、10月の改選後初めての開催となりますので、途中まで事務局で進行させていただきます。

なるべく短い時間で有意義な会議にしたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願いたします。

現在の皆様の任期につきましては、令和6年9月30日までとなっておりますので、引き続き、よろしくお願いたします。

では、委員の皆さんに自己紹介をお願いいたします。名簿の順に所属、お名前など簡単にお願いたします。

(自己紹介)

### 【事務局】

それでは、最初の案件といたしまして、会長と副会長の選任を行いたいと思います。皆さんからのご意見等はございますか。

(意見等なし)

なければ、事務局案としまして、佐藤善太郎委員に会長を、北川委員に副会長をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

### 【事務局】

では、ここからは会長の佐藤委員に進行をお願いしたいと思います。

### 【会長】

それでは会議次第に従いまして、議事を進めさせていただきます。初めに、令和4年度北広島市図書館利用状況から事務局の報告をお願いします。

# 令和4年度第1回北広島市図書館協議会議事録

## 【事務局】

令和4年度北広島市図書館利用状況について説明いたします。1ページをご覧ください。令和3年度につきましては約2ヵ月間、コロナウィルス感染拡大防止のため、臨時休館しておりましたが、今年度は徐々に利用の制限も緩和しながら開館しております。館内の利用、上映会などの再開など、通常どおりの利用になってきている状況です。

「1. 貸出の状況」についてですが、年度途中であるため、昨年度との比較から4月から1月までの数字を載せています。

全体の貸出冊数は、昨年度比全館で48,662冊増加、16.9%増加、一人当たりの貸出も5.88冊となっています。なかでも移動図書館での利用回復が74.5%と利用が伸びています。地区によっても増加率に幅はありますが、ほぼコロナ休館前の利用に戻りつつある状況が見られます。

続きまして、2ページの「2. AVコーナーの利用状況」についてですが、こちらもDVDの個人利用などの(1)AVブース(2)インターネット端末の利用状況については、制限がなくなったこともあり、回復傾向が見られ、安定した利用状況となっています。(3)上映会につきましては、10月から第1・第3水曜日の午前午後の2回上映を月2回再開しました。1回の上映あたり、十数名の方が楽しんでいる状況となっています。

続きまして、「3. 予約処理の状況」についてですが、(1)予約受付件数では、カウンター窓口での受付件数を館ごとに記載しています。窓口での予約件数は、昨年同時期とほぼ変化のない状況です。(2)は受付別の数字となっています。1月末までの合計は56,761件となり、webからの予約が伸びている状況です。webからの予約が約6割を占めています。

全体としましては、コロナの影響を受けていた令和3年度と比較すると、以前の利用状況に戻りつつあります。新聞の閲覧制限や上映会など、以前の図書館に近い状況となり、土日は子どもたちや家族の利用も多くなっています。

最後の写真につきましては、先月まで展示していましたが特集展示になります。「POPコンテスト」の様子です。おすすめ本を紹介したPOPを募集し、市内小学校345作品、中学校362作品、教員・学校司書3作品から全国に59作品選出し、ポプラ社全国学校図書館POPコンテストに応募しています。現在の展示は、職員のおすすめ本をPOPとともに展示している特集となっています。貸出中の本も多くなっていますが、お時間がありましたら、お帰りの際にご覧いただけたらと思います。

図書館の利用状況につきましては、以上となります。

## 【会長】

ただ今、事務局より令和4年度北広島市図書館利用状況に関する報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等がございましたら、よろしくお願いたします。

## 【会長】

意見がないようですので、続いて令和4年度学校図書館利用状況について事務局から説明をお願いします。

# 令和4年度第1回北広島市図書館協議会議事録

## 【事務局】

令和4年度学校図書館利用状況についてご説明いたします。3ページをご覧ください。市内の小中学校の学校図書館で貸出された冊数を年度別・学校別にまとめています。

今年度は、小中学校ともに利用が低調になっています。

小学校につきましては、学校でのコロナ対策の緩和によって、今までできなかったイベントの再開に力が入っており、図書室利用が減少している学校が多い傾向です。

大曲東小学校につきましては、学校の大規模改修工事に伴い、図書室も工事が入り、3月下旬～7月上旬まで3か月以上閉室しており、その間図書室利用ができませんでした。

中学校につきましては、タブレット端末を使った授業が増え、資料提供の機会が減っていることや、家庭で電子書籍を利用している生徒が増えてきており、図書室に来て借りずに戻っていくことがあります。

西の里中学校につきましては、学級文庫の貸出冊数の制限を少なくしたことや、たくさん本を借りていた学年の卒業が貸出数の減少の理由となっています。

小学校の豆次郎の利用や公共図書館から小中学校への団体貸出の利用など、システムに反映されていない部分でも、子どもたちは読書をしており、子どもたちのリクエストを新刊購入に反映させて、児童・生徒が利用したい学校図書館運営に取り組んでいます。

次に4ページをご覧ください。学校図書センターの取り組みの中で、主なものきたひろブックキャラバンについてご説明いたします。

今年度は、双葉小学校・大曲小学校・大曲東小学校の3校で開催しました。コロナ対策を取りながら、1校時ごとに1学年の実施となりました。

北広島市図書館のカードで1人3冊まで貸出ができ、持ち込んだ児童書約1,200冊～1,800冊のうち6割以上が借りられ、1人あたり2.4冊～2.5冊の貸出となりました。

児童からのブックキャラバンの感想として、読んだことのない本がたくさんあり楽しかった、これからもたくさん読書をしたい、などの声があがりました。また、学校からは、多くの本の中から気に入った本を選び、読書をゆっくり楽しめる時間がとても良い。学校の図書室と異なり、すべての本の表紙が見えている状態で本を選べるのが良いという声があがっています。

来年度も3校から開催の希望があり、同じ時期に開催予定です。他の小学校に対しては、毎年1学期に各校の図書担当の先生と打ち合わせをする際に、概要説明を行ったり、学校図書センター通信にキャラバンの記事を掲載して情報発信を継続していく予定です。

学校図書館の報告については、以上になります。

## 【会長】

令和4年度学校図書館利用状況に関する報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等はありませんか。

# 令和4年度第1回北広島市図書館協議会議事録

## 【会長】

意見がないようですので、次に地域まるごと読書支援モデル事業の報告について事務局から説明をお願いします。

## 【事務局】

地域まるごと読書支援モデル事業について報告いたします。

幼児期からの連続した包括的な読書活動の推進をねらいとして、子育て世代の多い大曲地区を対象に、まちなか司書1名を配置しています。

主な業務としては、大曲にある2つの小学校図書館に隔週巡回、また、大曲地区の保育園・こども園に対し、毎週決まった曜日に一日1園巡回を行い、在園児への読み聞かせを行っています。

モデル事業としては5年目となり、図書館外でも子どもたちから声をかけられる機会が増えてくるなど、まちなか司書の認知度も上がっているように見受けられます。

各園の読み聞かせ状況につきましては、4p(3)の1の表をご覧ください。

現在、大曲はだかんぼ保育園では、読み聞かせを休止していますが、他3園については、一定の距離を保ち、クラスを分けて読み聞かせを行うなど、コロナ以前と比べると形は変わりましたが、年間を通して継続した読み聞かせが実施できています。

園での本の受け渡しができる家読パック「こつぶ」については、下の2の表をご覧ください。貸出冊数は、3年度より配本回数が1回増えたこと、声掛けにより貸出率が上がったことから、1月末の時点で4,160冊の貸出数となりました。

また、昨年度、利用者に対してアンケート調査を実施したところ、こつぶの取り組みについて「非常に良い」と回答された方が全体の93%となり、利用者からは高い評価をいただいております。登録率は、30%後半で推移しており、こつぶの安定した利用が見られていますが、新規登録者数が減少傾向となっていることから、周知方法を工夫し、多くの方に「こつぶ」を知っていただけるような機会を設けていきたいと考えます。

報告としましては、以上です。

## 【会長】

地域まるごと読書支援モデル事業に関する報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等がありますか。

## 【委員A】

この事業は何年目に入りましたか。

## 【事務局】

平成30年から始まり5年目となります。

# 令和4年度第1回北広島市図書館協議会議事録

## 【委員A】

まだ「モデル事業」なのですね。大曲地区以外の目からみると、羨ましい事業。全市へ展開することは難しい状況ですか。

## 【事務局】

毎年、全市展開へ向けた予算要求を行っているところでありますが、予算化されていないのが現状です。実績自体への理解は得られていますが、予算の用意が行き届かず、全市への展開が出来ない状況です。部分的な拡大の要求もしていますが、予算化には至っておりません。

## 【委員A】

現在のまちなか司書の人員体制はどのようになっていますか。

## 【事務局】

まちなか司書は現在1名体制。1名が巡回して業務にあたっています。ただ、何かあった際には対応できるよう、バックアップ体制は整えています。

## 【委員A】

是非、予算化に向けた取り組みを継続していただければと考えています。

## 【会長】

その他、質問や意見等がございますか。

## 【会長】

ないようですので、令和5年度予算案の概要について事務局から説明をお願いします。

## 【事務局】

令和4年度の予算概要および令和5年度の予算案概要を図書館運営費と学校図書館活用事業に分けて説明いたします。

まずは図書館運営費について5ページの上の表をご覧ください。

基本的には前年度と同様な予算案としつつも、財政状況を踏まえ、削減できる予算、減らせる事業等の見直しを行った結果、前年度よりも総額は減少しています。

このうち、大きく変化した点をご説明いたします。

まずは、需用費です。こちらは図書の購入を中心とした予算となっておりますが、62万円減となりました。

次に、役務費ですが、令和4年度に図書館振興財団から受けた助成金によって「子どもから大人までの郷土学習デジタルBOX」を構築したので、こちらを令和5年度から本格運用するためのシステムの利用料として予算を増加で要求しています。

次に、使用料及び賃借料ですが、年度途中で契約切れとなるシステムがあり、それを再リースする場合に現契約よりも安い契約となるため、予算を削減できています。予算減によるサービスの低下などはございません。

# 令和4年度第1回北広島市図書館協議会議事録

---

続いて、学校図書館活用事業についてです。

こちらにも図書館運営費と同様に図書の購入費にあたる需用費が減となっています。

その他については、前年度とほぼ同様な予算案となっています。説明は以上です。

## 【会長】

ただ今、事務局より報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等がございましたら、よろしく願いいたします。

## 【会長】

意見がないようですので、「質疑・意見交換」に移ります。全体を通して何かありませんか。

## 【委員B】

4ページにあります、ブックキャラバンというのは実施した学校の児童全員がカードを作っているということでしょうか。

## 【事務局】

事前に学校の協力のもと、ほとんどの子に利用者カードを作ってもらっています。そのため、ブックキャラバン以外の図書館の利用も含めた呼びかけを行っています。

## 【委員C】

3ページの中学校の利用冊数が大きく減っている点について、良く読んでいる学年が卒業することが要因とのことでしたが、担任の先生なり、意識的に読書を推進する先生がいなくなると利用は伸びないということでしょうか。

## 【事務局】

要因としては考えられます。また、学校図書館を活用する先生がいなくなった点の他、非常にたくさんの本を読む生徒が数名いた学年でもあり、1年間で200冊以上読む生徒もいたと聞いています。

## 【会長】

他にはございませんか。

## 【事務局】

こちらから何点か、報告がございます。

まず、1ページの図書館の利用状況につきましては、現在2月ということもあり、現状の数字でお伝えしました。その他、団体貸出の動き、資料動向等は年度末に活動報告を作成いたしますのでご了承ください。

学校の利用に関して言えば、学年によって悩みが異なりますので、複数年の動向を見ていく必要性を感じています。ただ、3年間のコロナ状況からすれば、回復傾向が見られるので、今後の動きに注目していきたいと考えています。

## 令和4年度第1回北広島市図書館協議会議事録

---

また、今年度、「子どもから大人までの郷土学習デジタルBOX」を構築しました。詳細は割愛しますが、4月に稼働できるように準備していますので、その際には改めて周知いたします。

最後に、音訳活動について報告いたします。これまでの音訳は朗読というやり方で視覚に障がいを持つ方へ届けておりましたが、これからは読み上げソフトによって機械に読ませるシステムを導入していきたいと考えております。平成29年に機材を整備していたのですが、それから6年が経ち、今月、「きたひろ DAISY の会」という音訳活動のボランティアサークルが立ち上がりました。会員は現在7名で活動しており、これから音訳サービスの提供をしていきたいと考えております。

このように来年度からの新しい動きもございますので、引き続き見守っていただければと思います。

### 【会長】

以上で、令和4年度第1回北広島市図書館協議会を閉会いたします。

ありがとうございました。

会議録署名委員

---